

## 2022 年度 事業報告

### 1. 法人運営の状況

#### (1) 理事会の開催

- |           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| ① 2022 年度 | 第 1 回 理事会 (総会)                      |
| 開催日       | 2022 年 5 月 28 日                     |
| 開催場所      | 佐田事業所                               |
| 審議事項      | ・ 2021 年度 事業報告及び決算報告について            |
| 報告事項      | ・ 監査報告について                          |
| ② 2022 年度 | 第 2 回理事会                            |
| 開催日       | 2023 年 3 月 25 日                     |
| 開催場所      | 佐田事業所                               |
| 審議事項      | ・ 2023 年度 事業計画 (案) 及び活動計算書 (案) について |

#### (2) 監事監査

- |      |   |
|------|---|
| 開催日  | 2023 年 5 月 12 日   |
| 開催場所 | 佐田事業所   |
| 内容   | 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの事業年度の各事業における業務執行の状況及び財産の状況について |

### 2. 法人統括業務の状況

設置経営している施設及び事業所等の適正な運営、業務の合理化・高卒化及びご利用者サービスの質の向上等に努めた。

#### (1) 会議等の開催

自立的かつ主体的な事業運営を円滑にするため、管理者会議、職員会議等を定期的に開催した。

#### (2) ご利用者のためのメンバー会議等の開催

各作業の現状報告を踏まえた収支等を公表するため、毎月 10 日に開催。2022

年度は、コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮し、集合形式で行った。

(3) 職員の退職について

・清藤末美 75歳 運転手 2023年3月27日 退職  
(6年1か月在籍)

・衛藤優菜 27歳 事務員 2023年3月31日 退職  
(2年7か月在籍)

(4) 利用者さんの退職について

・南篤史 42歳 農作業員 2022年6月10日 退職  
(3か月在籍)

・今長直義 58歳 農作業員 2023年2月21日 退職  
(4年8か月在籍)

(5) 職員の採用について

・衛藤紀美子 75歳 世話人 2022年5月19日 雇用

・藤田博文 63歳 運転手 2023年2月1日 雇用

・相良聡 36歳 職業支援員 2023年3月24日 雇用

(6) 利用者さんの採用について

・恵良津義 53歳 農作業員 2022年6月1日 雇用

・市丸由美子 49歳 農作業員 2022年12月13日 雇用

・本庄利充 40歳 農作業員 2022年12月13日 雇用

・清末旭人 36歳 農作業員 2023年3月1日 雇用

### 3. 事業の実施状況

#### (1) 法人経営における現状と課題

2022年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）による影響を受けた年となった。利用者さん、職員、そしてそのご家族が感染し、職場の長期離脱を余儀なくされました。職員がコロナに感染した場合でもサービスを提供するための業務継続計画の策定が義務付けられた。また、ここ数年雨季の異常気象に備えるために、災害に対しても業務継続計画の策定も義務付けられた。

他の介護施設、福祉施設でご利用者に対する虐待事案が毎日のように報道される中で、弊社では、虐待防止の徹底に対する研修を開催し、ご利用者さんに対する権利擁護の研修等を重ね、職員一人一人の意識改革に努めた。我々が従事する労働は、「感情労働」という視点から、今年度初めて職員間のコミュニケーションの研修を実施した。

法人の経営基盤の就労継続支援A型事業の就労支援事業所収入の黒字化という課題については、今年度も引き続き努力しなくてはならない。

ご利用者さんのライフスタイルに合わせて、サービスを提供することが求められている中で、各サービスの課題は、ご利用者、そして職員の高齢化の問題であると考えます。サービス管理責任者の配置要件等、制度が変わる中で、法人として計画的な人材育成が求められる。中長期的な人材確保、育成に向けて取り組んでいきたい。

#### (2) 重点方針への取組み結果

##### ①ご利用者さん主体で質の高いサービスの提供

ア 多様化する障がい特性について、施設内研修、外部研修などの参加を促し、支援スキル向上に努めた。また、それぞれのニーズに適切かつ柔軟な支援提供の在り方について、職員間で情報を共有し、支援の標準化の構築に努めた。

イ ご利用者さんの権利擁護研修や虐待防止研修を実施し、全ての職員に対し人権意識と虐待防止の意識の更なる徹底を図った。

ウ 就労系事業の賃金の向上に向け、職員全員で取り組むとともに、一般就労

への移行の促進や就労定着の充実を関係機関と連携し実施した。

## (2) 法人として信頼される組織経営と経営基盤の強化

ア 職員一人一人がサービス利用状況や財務状況について情報を共有し、課題について、一体となって改善策について模索した。

イ 先の見えないコロナに対し、既存のマニュアルや行動計画を基に、業務継続に向けた計画に沿って、実施した。

ウ 弊社の福祉サービスについて、社会福祉法人大分県社会福祉協議会福祉センターサービス評価センターおおいたに依頼し、法人としてのサービスの在り方について、評価、指導、助言を頂いた。

## (3) 各圏域における福祉の増進

ア 行政、関係機関等と連携を密にし、具体的かつ積極的なコミュニケーションを取り、各圏域の情勢や状況に応じた適切なサービスの提供を実施した。

イ 地域生活拠点等の整備については、行政や他法人との「顔の見える化」連携強化を図りながら、体制整備と発展に向け協働し、地域福祉の増進に尽力した。

## (4) 人材の確保と育成、働きがいのある職場づくりについて

ア 年次有給休暇の取得及び業務改善を徹底し、「しっかり働き、しっかり休む」職場環境づくりを目指した。

イ 職員間で日常的なコミュニケーションを図り、風通しのより職場づくりを推進し、研修等を通じコンプライアンス意識の徹底とハラスメント防止等に努めた。

#### 4. 各事業別報告

##### (1) 障がい福祉サービス事業所 大地 (就労継続支援 A 型)

##### ①利用者登録状況 (2023 年度 3 月 31 日 現在)

障がい種別	男性	女性	計
精神福祉保健手帳所持者	9 名 ※	2 名	11 名
療育手帳所持者	10 名 ※	5 名	15 名
身体障害者手帳所持者	3 名 ※	1 名	4 名
計	20 名	8 名	28 名
平均年齢	42.0 歳	40.1 歳	40.7 歳

※ 重複障害

##### ②年間利用状況 (人) と国保連収入 (万円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
1 日当たり	21	20	22	21	21	22	21	22	22	23	22	24	22
利用率	87.0	81.5	86.1	84.1	86.4	88.0	87.2	89.4	85.0	85.3	83.7	85.7	85.7
国保連収入	457	427	493	443	433	460	459	493	459	461	452	564	466

##### ③職員の状況

職種	雇用形態	人数	配置時間
管理者	常勤・兼務	1 名	2 時間
サービス管理責任者	常勤・兼務	1 名	7 時間
生活支援員	常勤・兼務	1 名	2 時間
賃金向上達成指導員	常勤・専従	1 名	8 時間
職業支援員	常勤・専従	5 名	40 時間
職業支援員	非常勤・専従	1 名	6 時間
調理員	常勤・専従	1 名	8 時間
運転手	非常勤・専従	2 名	4 時間
事務員	非常勤・専従	1 名	5 時間
	実人数	13 名	8.1 時間

④就労支援事業所収入と支出

単位：千円

収入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
委託農業班	445	475		5	16	453	98	453				1,157	3,505
岡本自工班	426	385	372	498	423	497	881	870	798	596	720	1,034	7,506
石和田産業班	704	831	1,045	1,215	1,179	1,339	331	457	333	265	291	345	8,341
佐藤みかん班	86								197	71			355
櫛野農園班							206	485					691
キングラン南国農園班	1,029	703	783	513	403	385	691	415	379	615	555	790	7,265
その他						5			11				16
<b>収入計</b>	<b>2,692</b>	<b>2,395</b>	<b>2,202</b>	<b>2,232</b>	<b>2,022</b>	<b>2,680</b>	<b>2,210</b>	<b>2,681</b>	<b>1,719</b>	<b>1,548</b>	<b>1,567</b>	<b>3,728</b>	<b>27,681</b>

支出	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	2,125	2,178	2,631	2,142	2,181	2,222	2,224	2,387	2,656	2,279	2,332	2,723	28,085
業務委託費	2	2	2	3	2	4	5	4	4	4	3	6	46
消耗品費	5	5	5	15	12	15	27	12	8	2	14	7	125
修繕費				34	31	18			2				85
水道光熱費	1	4	1	2	8	9	4	2	1	2	1	4	45
燃料費	5	7	3	6	14	3			3				43
ガソリン代	19	27	31	31	27	40	46	42	30	25	24	31	378
旅費交通費	14	13	11	12	10	8	9	11	18	23	22	28	184
支払手数料	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
雑費			2										2
<b>支出計</b>	<b>2,175</b>	<b>2,240</b>	<b>2,689</b>	<b>2,249</b>	<b>2,288</b>	<b>2,322</b>	<b>2,319</b>	<b>2,462</b>	<b>2,727</b>	<b>2,337</b>	<b>2,400</b>	<b>2,794</b>	<b>29,008</b>
<b>収入-支出</b>	<b>516</b>	<b>155</b>	<b>-487</b>	<b>-17</b>	<b>-265</b>	<b>358</b>	<b>-109</b>	<b>219</b>	<b>-1,008</b>	<b>-789</b>	<b>-833</b>	<b>933</b>	<b>-1,326</b>

(2) 障がい福祉サービス事業所 大地 (就労定着支援)

①支援の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用人数 (人)	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	24
国保連収入	76	81	81	76	76	123	120	120	76	76	76	76	1370

②職員の状況

職種	雇用形態	人数	配置時間
管理者	常勤・兼務	1名	2時間
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名	1時間
就労定着支援員	常勤・兼務	1名	2時間

(3) 「ご近所さん」・「グループホーム四日市」(共同生活援助)

①利用者登録状況(2023年3月31日 現在)

障がい種別	ご近所さん(2部屋)			グループホーム四日市(4部屋)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
精神福祉保健手帳所持者	2名	—	2名	1名	—	1名
療育手帳所持者	2名	—	2名	2名	4名	6名
身体障害者手帳所持者	—	—	—	(1名)	—	(1名)
合計	4名	—	4名	3名	4名	7名
平均年齢	46歳	—	46歳	41歳	38歳	39歳
最高齢者年齢	56歳	—	56歳	63歳	69歳	69歳
最年少者年齢	27歳	—	27歳	20歳	26歳	20歳

②年間利用状況(人)と国保連収入(万円)

「ご近所さん」

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
定員(人)	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	
1日当たり(人)	5	5	4.5	5	4.8	4	4	4	4	4	4	4	4.4
国保連収入(千円)	402	413	372	411	395	315	383	387	398	399	364	398	合計 4,643

「グループホーム四日市」

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
定員(人)	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
1日当たり(人)	6.7	6.5	6.8	6.5	6.5	6.7	6.7	6.7	6.6	5.9	5.7	5.7	6.4
国保連収入(千円)	526	530	530	531	532	526	541	529	535	499	447	488	合計 6,219



### ③職員の状況

		ご近所さん		グループホーム四日市	
職 種	雇用形態	人数	配置時間	人数	配置時間
管理者	常勤・兼務	1名	1時間	1名	1時間
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名	2時間	1名	2時間
生活支援員	常勤・兼務	—	—	1名	1時間
世話人	非常勤・専従	4名	4～6、5時間 36時間/週	4名	4～7時間 41時間/週
	合 計	6名		7名	

### ④2022年度の運営状況

#### 「ご近所さん」

県営小峰団地の2室を借りて運営。4月当初は定員5名でスタート。

(118号室：2名入居 食堂を兼ねる 111号室：3名入居)

3階(111号室)に入居の72歳の男性の足腰の衰えと心肺機能の低下が懸念され、予てより生活環境の改善のため、高齢者施設への入居を検討していた。しかし、なかなかご本人と施設側の合意が得られず、2年余りが経過した昨年8月、「ケアハウス光」に転居された。快適な住環境で、筋力をつけるためのリハビリに通うことも決められ、これから・・・という矢先、急逝された。新居に移られて9日目のことだった。

通夜には、「ご近所さん」「グループホーム四日市」の入居者も参列され、和やかにお見送りすることができた。

3名が入居していた111号室(3DK)は快適な居住空間とは言い難く、特に亡くなられた男性が暮らしていた部屋は狭く、収納スペースも十分でなかったため、以前から問題を感じていた。そこで、男性が転居されたのを機に、定員を1名減らし、4名にすることとした。

その為、これまで5名で負担していた2室分の家賃を4名で負担しなければならなくなったが、世話人にも協力を依頼し、利用者の経済的負担を最小限にとどめるよう努めた。10月分より1,700円値上げして、32,700円(1万円の家賃補助適用後の家賃2,400円+食費18,130円+光熱費等12,120円)を利用料としていただいている。

## 「グループホーム四日市」

石田の民間のアパートを4室（2DK）借りて運営。定員7名。

（103号室：1名入居 食堂を兼ねる 他3室：2名ずつ入居）

利用料は月47,500円。（1万円の家賃補助適用後の家賃19,150円＋食費14,000円＋光熱費等14,350円）

2021年度は、光熱費等に不足分が発生し、追加徴収している。2022年度は8月分から2,100円値上げして47,500円にしたが、若干、足りなくなる見通し。しかし、ガスや電気の使い方を工夫することによって使用料を抑えることを提案し、できれば利用料の値上げは避けたいと考えている。

入居者は20歳から69歳まで年齢差が大きく、「ご近所さん」と比べると20代の若い人が多い。服薬確認が必須の入居者が1名おられるので、それを兼ねて、職員が交代で見守りを行っている。

1月中旬、69歳の女性が、自室でズボンをはこうとして転倒。右足大腿骨を骨折。ボルト2本で固定する手術を行ったが、骨がうまく蘇生せず、人工骨頭を入れる再手術の後、和田病院に入院してリハビリを行っている。経過は良好で、今のところ、6月初旬に退院して、グループホームに戻ってくる予定だが、その為には玄関や浴室に手すりをつける必要がある。病院スタッフが介護保険の申請手続きを進めていて、その結果を待って大家さんに交渉する。

### ⑤成果と課題

5月下旬、新しく世話人が1名加わった。職員が応援に入ることなく、世話人4名でシフトを組める体制が確立した。

新型コロナウイルスの感染が急激に拡大した昨年8月、「ご近所さん」の入居者1名が感染。感染が疑われた段階で他の入居者や世話人等との接触を避けること、手洗いとアルコール消毒及びマスクの着用を徹底した。その結果、感染が広がることは免れた。入居者の協力と、世話人と職員が連絡を取りながら連携して対処できた成果と考える。

その後、県の指導もあり、毎週火曜日を抗原検査の日として、入居者と職員全員が検査を行い、感染予防に努めることができた。

コロナワクチン接種やインフルエンザ予防接種については、グループホーム関係者は全員接種を原則とし、申し込みや接種料の補助、接種当日の支援を行

った。また、健診や病院受診についての支援も行い、健康管理に役立てることができた。

コロナ感染も幾分収束に向かい、12月11日、グループホーム合同の旅行を実施できた。門司港、下関界隈を巡り、唐戸市場で昼食を取り、楽しい旅行になった。今後も、楽しいイベントを企画し、入居者の交流と親睦を深めたい。

ほとんどの入居者が、基本的な生活習慣が身につけていない。これまでも、何度となく問題になったが、改善できないでいる。マナーやエチケットも含めて、その都度、支援していく必要性を感じている。また、掃除や洗濯など一人では難しい入居者も多い。将来、一人暮らしを希望されている方はもちろん、グループホームでの生活を継続される方についても、少しでもできることを増やしていけるように、こまめな声掛けと支援が必要と考えている。

「ご近所さん」でも「グループホーム四日市」でも、高齢となった入居者の対応が問題になった。介護保険サービスへのスムーズな移行や、介護保険サービスと障がい福祉サービスの併用など、多様なサービス提供の在り方が今後の課題と言える。市の介護保険課や介護保険サービス事業所とも連携しながら、見通しをもって支援していくことが肝要と考える。

体験利用や緊急時の受け入れを行う地域生活支援拠点等の機能を担うこととなって2年目。満室の状況なので、受け入れの実績はない。

グループホーム新設を計画したが、候補地の購入の前段階で、設計図通りの建物を建てた場合、建設費が予算を大幅に上回ることが判明した。現在のグループホームで提供できている生活の質を落としてまでグループホームを新設する意味はないと考え、断念することとなった。

(4) 相談支援事業所「空」(ア. 相談支援事業、イ. 自立生活援助事業)

【運営方針】

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ちながら、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう利用者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。そのために、市町村及び多様な事業者との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善及び開発に努めるとともに、自ら提供するサービスの評価を行い、常にその改善に努める。

ア. 相談支援事業

・特定相談支援（計画相談支援）事業

① 利用者登録状況（2023年3月31日現在）

障がい種別	男性	女性	計
精神保健福祉手帳所持者	11	5	16
療育手帳所持者	15	5	20
身体障害者手帳所持者	3（重複2）	1	4（重複2）
計	27	11	38

(単位：人)

利用サービス	男性	女性	計
「大地」利用者	18	7	25
グループホーム利用者	7（重複4）	3（重複2）	10（重複6）
上記のサービス以外	6	3	9
計	27	11	38

(単位：人)

	男性	女性		男性	女性	計
20～24	3	0	25～29	4	4	11
30～34	1	0	35～39	5	0	6
40～44	0	0	45～49	1	0	1
50～54	3	2	55～59	4	2	11
60～64	5	0	65～69	0	2	7
70～74	0	1	75～79	1	0	2
						38
男性平均年齢		50.0	女性平均年齢		48.6	
全体平均年齢				46.0	(単位：人)	

② 年間利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計画	1		2	6	1		2	2	2	4	2	2	24
モニタリング	7	2	6	5	1	10	6	1	6	7	1	9	61
担当者会議									1				1
計	8	2	8	11	2	10	8	3	9	11	3	11	86

③ 職員の 状況

職種	雇用形態	人数	配置時間
管理者	常勤・兼務	1	2
相談支援専門員	常勤・兼務	1	4

・特定相談支援（計画相談支援）事業

【成果と課題】

3月31日現在で、38名の方が登録されている。障がい福祉サービスの利用を終了され、計画相談の利用も終了された方、新しく障がい福祉サービスの利用を希望され、計画相談の利用が始まった方もある。

利用者が本人の選択に基づき、必要な各種サービスを利用できるよう選択肢を提示し、利用者の意向に沿ったサービス等利用計画を作成し、定期的なモニタ

リングによりサービスの利用状況を把握しながら、関係機関と連携してサービスの向上に努めている。

本人のニーズに合ったサービスの提供を提案するために、社会資源に関する幅広い知識と、サービス提供者との信頼関係の構築が求められる仕事であり、その職責の重さを痛感しながらの毎日。

9月にグループホームから軽費老人ホームへ転居された70代男性が急性心筋梗塞で急逝。高齢者施設に入居しながら、就労の事業所で仕事をし、新たに生活介護のサービスを利用して機能訓練に取り組むことを楽しみにされていた矢先のことだった。介護保険の利用、介護者亡き後の暮らし、一人暮らしの実現、就労・日中活動の場の提供等、一人一人のニーズに合ったサービスの提供が今後も求められる。

・「一般相談支援（地域移行・地域定着支援）事業」

#### 【成果と課題】

昨年度もサービスの利用はなかったが、自立生活援助サービスの利用終了後の利用者の方で、今後も当事業所の継続した支援を希望される方と繋がるサービスとして地域定着支援のサービス利用を提案していく。ただし、自立生活援助サービスが通院や行政手続き等日々の暮らしのサポートを想定しているのに対して、地域定着支援サービスが主に、緊急の事態の対応を想定しており、今まで提供してきたサービスがインフォーマルな支援になる。「日常生活自立支援事業」（あんしんサポート）サービスの利用や民生委員との連携等、地域の社会資源の活用が重要になる。

#### イ. 自立生活援助事業

##### ① 利用者登録状況（2023年3月31日現在）

障がい種別	男性	女性	計
精神保健福祉手帳所持者	1		1
療育手帳所持者	2		2
身体障害者手帳所持者	1（重複1）		1（重複1）
計	3		3

(単位：人)

② 年間利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
サービス提供	2	2	3	3	2	2	0	1	2	1	2	2	22

(単位：人)

③ 職員の状況

職種	雇用形態	人数	配置時間
管理者	常勤・兼務	1	1
サービス管理責任者	常勤・兼務	1	2
生活支援員	常勤・兼務	1	1

【成果と課題】

当事業所が、就労や居宅介護等、他の障がい福祉サービスを利用されていない方と繋がり支援させて頂く形態として自立生活援助サービスを提供している。昨年度は3名の方の利用があった。このサービスは、原則1年間利用可能なサービスであり、延長を希望する場合は審査会の決定が必要。今年1月、延長を申請したケースでは、半年の延長が認められたがそれ以降は認めないという決定であった。利用者が安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の社会資源の活用を提案していきたい。

## (5) 2022年度 職員研修等実施状況

No.	日時	研修内容	場所・主催者 等	参加者
1	5月10日	要配慮者利用施設避難確保研修会	宇佐市	管理者
2	5月27日	ジョブコーチ研修	ポリテクセンター	就労定着支援員
3	5月30日	先進地視察	由布の麓	管理者・サビ管
4	6月1日	精神保健福祉部会	宇佐市	管理者
5	6月3日	相談支援部会	宇佐市	相談支援従事者
6	6月10日	安全週間説明会	大分県	管理者
7	6月10日	就労支援部会	宇佐市	就労定着支援員
8	6月14日	給食施設研修会	大分県	調理員
9	6月21日	施設連絡協議会	宇佐市	管理者
10	6月30日	避難行動要支援者の個別支援計画に関する研修会	大分県	相談支援従事者
11	6月30日	障がい福祉に係る職員向け研修会	宇佐市	職業支援員
12	7月1日	相談支援事業所管理者会議	宇佐市	管理者
13	7月13日	ジョブコーチ研修	別府職業センター	就労定着支援員
14	7月15日	サビ管更新研修	大分県	サビ管
15	7月20日	相談支援従事者初任者研修	大分県	相談支援従事者
16	7月21日	相談支援従事者初任者研修	大分県	相談支援従事者
17	7月22日	人権入門講座	大分県	管理職
18	7月29日	人権入門講座	大分県	管理職
19	7月29日	サビ管更新研修	大分県	サビ管
20	8月2日	訪問型職場適応援助者スキル向上研修	障害者雇用支援機構	就労定着支援員
21	8月3日	精神保健福祉部会	宇佐市	管理者
22	8月5日	相談支援部会	宇佐市	相談支援従事者
23	8月5日	サビ管更新研修	大分県	サビ管
24	8月9日	地域移行支援体制整備研修会	宇佐市	管理者
25	8月17日	人権入門講座	大分県	管理職
26	8月24日	人権入門講座	大分県	管理職
27	8月31日	相談支援事業所従事者初任者研修	大分県	相談支援従事者
28	9月5日	避難訓練（安心院）		全員
29	9月12日	避難訓練（南宇佐）		全員
30	9月14日	精神障がい者就労支援従事者研修会	大分県こころとからだの相談支援センター	職業支援員



	日時	研修内容	場所・主催者 等	参加者
31	9月16日	全国労働衛生週間説明会	大分県	管理者
32	9月21日	ほめ達研修	一般社団法人日本ほめる達人協会	管理職
33	10月7日	相談支援部会	宇佐市	相談支援従事者
34	10月12日	精神保健福祉部会	宇佐市	管理者
35	10月13日	ピアサポートフェスティバル実行委員会	宇佐市	職業支援員
36	10月15日	虐待防止講演会	宇佐市	全職員
37	10月19日	ほめ達研修	一般社団法人日本ほめる達人協会	管理職
38	10月26日	ジョブコーチ研修	別府職業センター	就労定着支援員
39	10月27日	サビ管実践研修	大分県	サビ管
40	10月28日	サビ管実践研修	大分県	サビ管
41	11月2日	宇佐市官公需受注協議会	宇佐市	管理者
42	11月4日	発達障害地域別研修会	大分県	管理者・サビ管
43	11月11日	相談支援従事者初任者研修	大分県	相談支援従事者
44	11月16日	ほめ達研修	一般社団法人日本ほめる達人協会	管理職
45	11月17日	県北地域企業見学会	すまいる	就労定着支援員
46	11月22日	保健委員研修会	大分県	管理者
47	11月24日	障がい者虐待防止権利擁護研修会	介護研修センター	管理者
48	12月1日	虐待防止研修	大分県	管理者
49	12月7日	ジョブコーチ研修	別府職業センター	就労定着支援員
50	12月9日	精神疾患についての基礎研修	宇佐市	管理者・相談支援従事者
51	12月12日	虐待防止研修	大分県	相談支援従事者
52	12月14日	ほめ達研修	一般社団法人日本ほめる達人協会	管理者
53	12月15日	精神保健福祉部会	宇佐市	管理者
54	12月16日	就労セミナー	大分県	就労定着支援員
55	1月8日	高次脳機能障がい研修会	大分県	職業支援員
56	1月10日	虐待防止研修（利用者向け）		全利用者
57	1月11日	個別避難計画研修会	大分県	管理者
58	2月8日	宇佐市官公需受注協議会	宇佐市	管理者
59	2月8日	認知症対応力向上研修会	大分県	管理者
60	2月20日	就労支援事業所研修会	大分県	管理者
61	2月24日	BCP策定についての研修会	宇佐市	管理者

	日時	研修内容	場所・主催者 等	参加者
62	3月2日	施設連絡協議会運営委員会	宇佐市	管理者
63	3月15日	宇佐市官公需受注協議会	宇佐市	管理者
64	3月16日	NPO 助成金説明会	大分県	管理者
65	3月28日	施設連絡協議会全員委員会	宇佐市	管理者
66	3月29日	事業所説明会	大分県	管理者

(6) 2022年度 職員会議実施状況

No.	内容	参加者	備考
1	4月職員会議	職員 11名	職員研修：A型スコアと虐待防止研修
2	5月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修①
3	6月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修②
4	7月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修③
5	8月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修④
6	9月職員会議	職員 11名	職員研修：ほめ達研修
7	10月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修⑤
8	11月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修⑥
9	12月職員会議	職員 11名	職員研修：虐待防止研修
10	1月職員会議	職員 11名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修⑦
11	2月職員会議	職員 11名	職員研修：障がい者権利擁護研修（動画視聴）
12	3月職員会議	職員 12名	職員研修：強度行動障害支援者養成研修⑧

(7) 2022 年度 利用者さん参加の行事実施状況

No.	内容	参加者	内容
1	4月メンバー会議	全員	3月期のA型収支報告・作業班の状況報告
2	5月メンバー会議	全員	4月期のA型収支報告・作業班の状況報告
3	6月メンバー会議	全員	5月期のA型収支報告・作業班の状況報告
4	7月メンバー会議	全員	6月期のA型収支報告・作業班の状況報告
5	8月メンバー会議	全員	7月期のA型収支報告・作業班の状況報告
6	9月メンバー会議	全員	8月期のA型収支報告・作業班の状況報告
7	10月メンバー会議	全員	9月期のA型収支報告・作業班の状況報告
8	11月メンバー会議	全員	10月期のA型収支報告・作業班の状況報告
9	12月メンバー会議	全員	11月期のA型収支報告・作業班の状況報告
10	1月メンバー会議	全員	12月期のA型収支報告・作業班の状況報告・虐待防止研修(利用者向け)
11	2月メンバー会議	全員	1月期のA型収支報告・作業班の状況報告
12	3月メンバー会議	全員	2月期のA型収支報告・作業班の状況報告
13	避難訓練	全員	佐田事業所・南宇佐事業所 避難訓練
14	新春の集い・成人を祝う会	利用者・職員・理事	20歳(成人)を祝う会